

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

社 会（公民的分野）

教科用図書南那珂採択地区協議会

1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されており、単元を通して課題解決的な学習活動ができるようになっている。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」などで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教 出	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、学習のテーマをつかむ導入ページ、本時ページとそれに関連した特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっており、見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすくなっている。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、キャラクターからの問いや「公民の窓」などで追究し、最後に、自ら考えたり他者と意見交換したりする「確認!」「表現!」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、章・節・見開きごとに問いと振り返りの学習を設け、それを積み重ねていくことで章の問いを自分なりに追究していくことができるようになっている。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、コラム「未来に向けて」などで追究し、最後に、読解力や表現力等の育成を促す「確認しよう」「説明しよう」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
116 日 文	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、社会の課題を考える学習ページとなっており、段階的に「見方・考え方」の学習を行い、自ら考える力を身に付けることができるようになっている。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「見方・考え方」を働かせる「アクティビティー」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
225 自 由 社	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、学習のまとめと発展のページとなっており、毎時間の学習内容を、章末で確認・定着できるような流れとなっている。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、複数の資料や「ミニ知識」コーナーなどで追究し、最後に、毎時間の学習内容の振り返りができる「ここがポイント」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。

227 育鵬社	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ（〇〇の入り口）、本文ページ、まとめのページ（〇〇のこれから）となっており、問題意識をもって学習に取り組めるような工夫が見られる。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「学習を深めよう」コーナーなどで追究し、最後に、レポートや論述でまとめる「学習のまとめ」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
---------	---

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、持続可能な社会の実現に向けた課題を意識する「巻頭」や、地理・歴史・公民の3分野に関連した課題を考える「もっと公民」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、公民の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキル・アップ」コーナーや主権者として社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各章の終わりで「マトリックス」や「トゥールミン図式」などを活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりするなどの工夫が見られる。
17 教 出	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各章のはじめのページ、見開きのページ、学習のまとめと表現のページにその章の学習に必要な「見方・考え方」を確認することで学習の見通しをもたせるなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、冒頭で「公民で意識したい具体的な『学び方』」コーナーを設けたり、技能や表現力を身に付ける「公民の技」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、身近な生活と結び付けて考える「読んで深く考えよう」やディベートやプレゼンテーションを行う「言葉で伝え合おう」を設けるなどの工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各部の学習の初めのページに示した町の様子やイラストから、学習内容につながる事項を見出したり、小学校の学習内容と関連して考えたりするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、1単位時間の学習内容を定着させるコーナーを設けたり、随所に公民の学習に必要な基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「Yes No」コーナーや「アクティブ公民」コーナーで、現代社会の様々なテーマについて考えることができるような工夫が見られる。

116 日 文	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各編の最初のページには、その編の学習内容に関する「見方・考え方」をイメージできる漫画が掲載されており、学習への見通しをもたせるための工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習に必要な技能を身に付ける「情報スキルアップ」コーナーや、学習に関する事項について理解を深める「公民＋α」コーナーが設けられるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、課題について考える手助けとなる様々な「シンキングツール」を紹介して「学習の整理と活用」で学習内容を表現させるような工夫が見られる。
225 自由社	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各単元において、身近な題材を取り上げたり、学んだことをもとに協働して思考ができるよう「アクティブに深めよう」を設けたりするような工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、重要な語句を確認したり、文章で記述したりする「学習のまとめと発展」のページや、単元に関連する内容を示したコラム「もっと知りたい」を設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学んだことを活用して、自分の考えをまとめたり、討論したりする「課題の探求ページ」を巻末に設けるなどの工夫が見られる。
227 育鵬社	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、社会に見られる課題を把握したり、その解決に向けて構想したりする「やってみよう」や、章末に「〇〇のこれから」というコーナーを設けるなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習内容の理解へつながるキャラクターの吹き出しや、学習に必要な基礎的な技能を身に付ける「スキルアップ」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、参加型学習の「やってみよう」や、巻末で学習内容をレポートにまとめる「社会科のまとめ」を設けるなどの工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、資料に番号を付けて、本文と関連付けるなどの工夫が見られる。 また、他分野や他教科との関連を「関連マーク」で表示し、学習内容の関連性を意識したり、「二次元コード」を読み取り、インターネットを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。
17 教 出	(1) すべての生徒が学習しやすくするために、各章の扉のページに、様々な活動場面の写真を掲載し、身近な生活と関わらせて、学習内容が想起できるような工夫が見られる。 また、巻頭Ⅲで「公民で学ぶ主な内容と学習の見通し」で、学習内容の系統性を意識したり、「二次元コード」を読み取り、インターネットを使った学習を行ったりできるような工夫が見られる。
46 帝 国	(1) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、資料の読みのポイントを示した「資料活用」を設けるなどの工夫が見られる。 また、図版は、記号等が明瞭で読み取りやすい配慮がなされていたり、「二次元コード」を読み取って、動画などのコンテンツ資料を活用した学習を行ったりできるなどの工夫が見られる。
116 日 文	(1) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誌面の一部に点字加工を施すページを設けるなどの工夫が見られる。 また、巻頭にはSDGsについて紹介するページを設け、学習内容との関連を意識したり、QRコードを読み込み、デジタルコンテンツ資料を活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。
225 自由社	(1) すべての生徒が学習しやすくするために、イラストとともに章のタイトルや導入となるコメントを掲載し、全ての単元を連番で表示するなどの工夫が見られる。 また、本文の近くには、本文の内容を補う詳しい解説文が掲載されたり、各単元の重要語句はゴシック（太字）で示し、すべて巻末のさくいんに掲載したりする工夫が見られる。
227 育鵬社	(1) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、見開きごとの資料に通し番号を付け本文と関連付けるなどの工夫が見られる。 また、見開きページで、地理や歴史で学習した関連内容を紹介したり、各章の初めのページで、小学校で学習した内容を振り返ったりして、学びの系統性を意識できるような工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 地域と連携した学習内容として、探究課題の解決に取り組む「まとめの活動」の中で、自分が住む市の課題を調べて、その解決のためにどのような条例があったら良いか、首長の立場で条例案をつくり考える学習が展開できるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各章の終末に学習した知識や概念を確認する「基礎・基本のまとめ」のページが設定されており、用語の説明や学習内容の整理を行い定着の確認と振り返りを行うことができる工夫が見られる。
17 教 出	(1) 地域と連携した学習内容として、表現スキルの習得を中心とした「言葉で伝え合おう」の中で、これまで学習した内容を参考にしながら地域の現状を知り、地域のために自分たちができることをグループで考える学習が展開できるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各章の終末に学習した知識などを確認する「学習のまとめと表現」のページが設定されており、キーワードをもとに知識を確認したり、学習を再構成したりすることができる工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 地域と連携した学習内容として、学習した概念を社会に見られる課題の解決に向けた選択・判断に応用する「アクティブ公民」の中で、自分が住む町をよりよくするために、どのような町づくりが必要かを考える学習が展開できるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各章で設定された問いの受け皿として「章の学習を振り返ろう」のページが設定されており、学習の振り返りとともに、他の生徒の視点を参考にして思考を多角化することができる工夫が見られる。
116 日 文	(1) 地域と連携した学習内容として、社会の課題について考察、構想を行い、判断基準をふまえて表現する「チャレンジ公民」の中で、自分が住むまちをどのようなまちにしたいか、首長として公約をつくり考える学習が展開できるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各編の終末に「学習の整理と活用」のページが設定されるとともに、巻末に類似用語の違いについてまとめた「類似用語集」が設けられ、生徒の理解を支援することができる工夫が見られる。
225 自 由 社	(1) 地域と連携した学習内容として、テーマに沿ってグループで調べ学習や意見交換を行う「アクティブに深めよう」の中で、自分たちのまちの課題をふまえて、まちの活性化のための具体的方策について考える学習が展開できるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各章の終末に「学習のまとめと発展」のページが設定されており、学習した最重要語句を振り返ったり、レポート等に取り組み、生徒が主体的に思考、表現したりすることができる工夫が見られる。

227 育鵬社	(1) 地域と連携した学習内容として、各章の最初にある「入り口」で示された課題を受けて設けられた章の最後の「これから」の中で、自分が住む地域の特色や課題を生かした取組について、ランキングをつくり考える学習が展開できるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各章の終末に「学習のまとめ」のページが設定されており、学習した内容について理解できているか確認したり、論述形式等で解釈したりする学習が展開できるような工夫が見られる。
---------	--